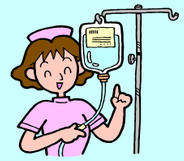
乳腺　化学療法を受ける患者さんへ



【患者さん用クリニカルパス】

ＩＤ：　@{Patient.ID}　　患者氏名：@{Patient.Name

	化学療法当日 月　　日		
	化学療法前	化学療法中	退院
目標	治療の経過や副作用についてわ	予定どおりに治療が終了する 症状出現時は適切な対処が受けられる	退院指導の内容が分かる
説明・指導	予測される副作用および予防法・出現時の対処方法について説明があります。	点滴中、針の入っているところが痛くなったり、腫れたり、重苦しくなったら、すぐに教えて下さい。 ふらつき・目まい等があるときは必ず看護師を呼んでください。	治療終了後に退院となります。 次回から外来化学療法をおこなう場合は、外来化学療法室のご案内・説明を行います。
治療 処置 点滴	点滴の針を入れ準備します。 点滴の準備ができ次第、点滴を始め	点滴中に起こり得る症状／抗癌剤の主な副作用　（発症時期による症状と対処方法について） 【点滴開始から1週間】 投与時過敏症状 投与中あるいは投与数時間後にかゆみ、息が苦しい、発熱、汗が出るなど様々な症状が出た場合、すぐに教えてください。 はき気・嘔吐・食欲不振などの消化器症状　　吐き気止めのお薬を使用します。 関節・筋肉痛　　漢方や痛み止めの内服を使用することがあります。 手指のしびれ　　手足のピリピリとしたしびれ、感覚が鈍くなるなどの症状が起こることがあります。 白血球減少、好中球減少　　G-CSF製剤（白血球を増やす薬）を注射をすることがあります。	
内服	現在飲んでいる内服薬の確認をします。 内服薬は基本的に継続内服となります。		必要に応じて、吐き気止めや便秘薬の処方を行います。 その他、希望がある際は、お申し出下さい。 
検査	次の検査をすることがあります。 血液検査 胸のレントゲン 心電図検査 	初回は開始5分後、10分後、15分後に体調の確認をします。また、終了時に血圧を測ります。	外来で採血をして、骨髄抑制（白血球減少、貧血、血小板減少）の有無を確認します。 白血球減少が認められた場合は、次回の化学療法を延期し、G-CSF製剤（白血球を増加させる薬）を注射することがあります。うがい、手洗いをし、マスクをつけ感染予防をしてください。
食事	化学療法によって、食事の制限はありません。通常通りに摂取して下さい。 		
生活・行動	特に行動制限はありません。抗癌剤の副作用により転倒・転落の危険性が高くなるため注意しましょう。		
清潔	ご自宅でも　入浴、またはシャワー浴ができます。 		
その他	抗癌剤点滴開始初期（特に１０分以内）に発疹や顔が赤くなってほてるなどのアレルギー症状が現れることがあります。 ほとんどは一時的なものでおさまりますが、症状が出現した場合は申し出て下さい。		38.5℃以上の発熱があった場合には、受診するようにしましょう。アピアランスケアについての相談窓口があります。 その他にも気になることがございましたら、お電話下さい。

注）予定等は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。

岩手医科大学附属病院
外科